

JR西日本和歌山支社インターンシップ 「地域の交通と向き合う」

植田 健太郎 岡 昌吾 岡田 水緒
田中 眞 渡邊 拓大 高栖 憲斗

地域協働演習A・B・Cでの取り組み (南海多奈川線・岬町へのヒアリング、第1回きのくに線駅マルシェ)

地域交通について知る

南海多奈川線にて地域交通の
実地調査
現状の整理と問題点を確認
→利用者のニーズは何なのか

現場での調査・実践

利用者のニーズがどのようなものなの
かイベント時にアンケート調査
地域交通において求められることは
何なのかを議論、事業者に発表

Adv.での取り組み

副支社長や人事の方からJR西日本の会社説明や働くということについてお話していただく(5月)

取り組み01 駅マルシェにおける クイズラリー企画

2023年5月に第2回駅マルシェが開催された際に、開催された3つの駅(加茂郷駅、下津駅、初島駅)すべてに訪れてもらう方々を増やすことを目的に、子供向けクイズラリーを実施。

駅マルシェが開催された地域(海南市、有田市)にちなんだ問題や、きのくに線に関する問題を学生たちで考案し、結果的には述べ200人の方々に楽しんでもらえた企画となった。



クイズラリー時の様子

取り組み02 くろしお調査における アンケート作成並び調査の実施

特急くろしお号やきのくに線の利用策を検討するために8月下旬から9月上旬にかけてくろしお車内で行われた、アンケート調査においてアンケートの構築と調査員として参加。

利用策につなげやすい設問の設定やお客様と実際に車内でコミュニケーションをとることを通じて、地域交通に対する事業者側と利用者側双方の見方を知ることのできる機会となった。



調査時の様子



1月末 和歌山支社にて報告会

まとめ・学んだこと

- ・実際に利用者の方の声を聞くことができ、鉄道が社会に対して重要な役割を担っていることを実感することができた
- ・何気なく使っているサービスが、私たちが考えている以上に多くの人の支えによって生み出されていること並びに、そのサービスの裏側に携わる人の仕事内容について知ることができた。